



2026年3月期 中間決算説明会

代表取締役社長 中山大輔

2025年11月12日(水)

Art in Technology
komatsumateRe



もくじ

- I. 会社概要
- II. 2026年3月期 中間決算概要
- III. 2026年3月期 業績見通し
- IV. トピックス



I. 会社概要



業 種：繊維の染色加工技術を基盤とした
化学素材メーカー

本 社：石川県能美市浜町又167番地

設 立：1943年10月8日

株 式：東証プライム市場

資本金：46億8千万円

売上高：395億円（2025年3月期）

社員数：1,203名(連結)

- ・連結子会社 国内5社、海外2社
- ・持分法関連企業 2社



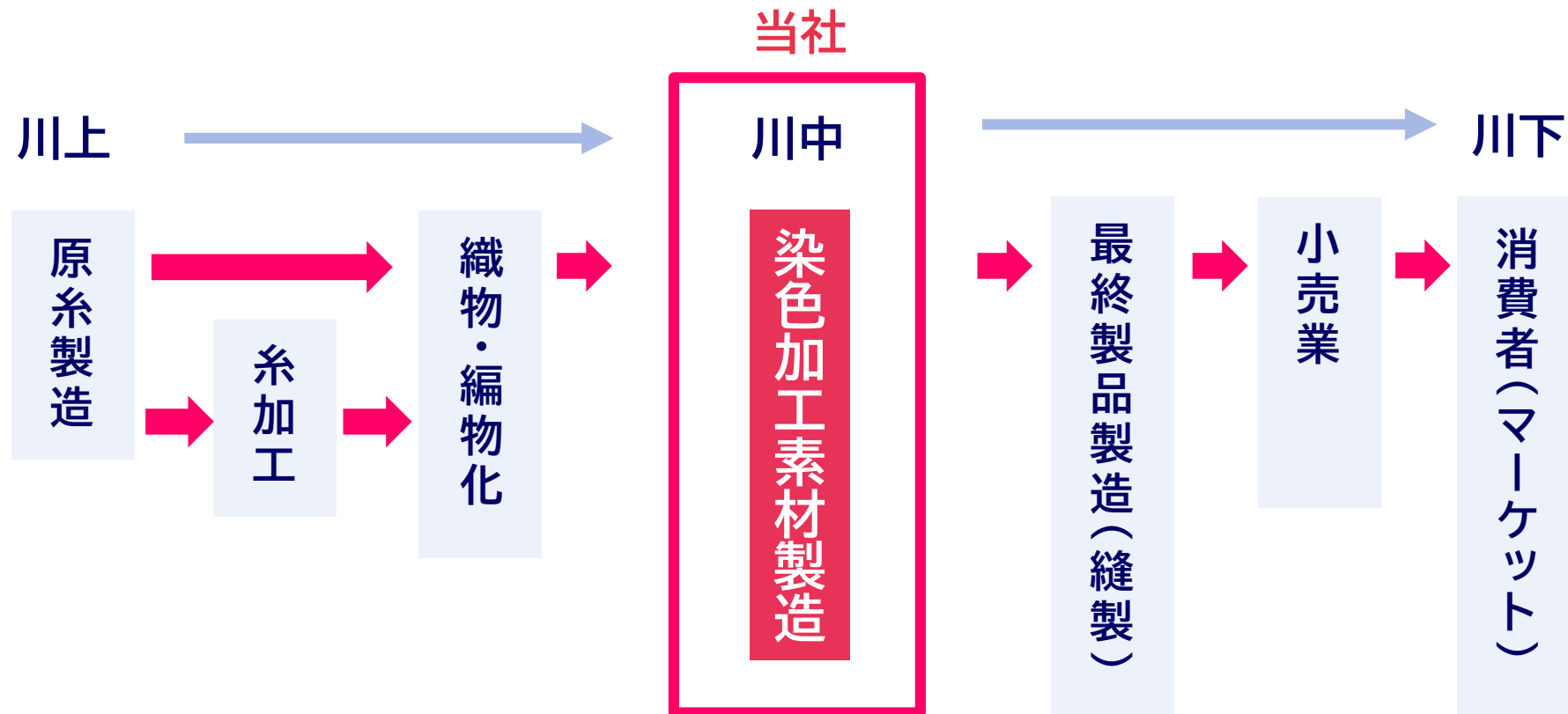
小松マテールが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。

ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

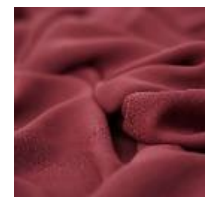
小松マテールは
人々の感動を創造します

小松マテールは
地球・社会に貢献します

小松マテールは
社員と共に成長します



加工素材: 合成繊維(ポリエステル、ナイロン等)
加工規模: 約2億m²/年(地球約5周分)
シェア(染色加工): 国内約14% 石川県内約77%



◀ ポリエステル



◀ ナイロン

感性

+

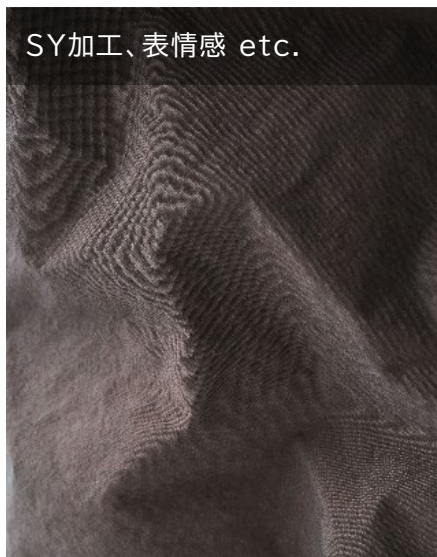
機能

染色

風合い変化

改質加工

造膜加工



技術と感性の融合

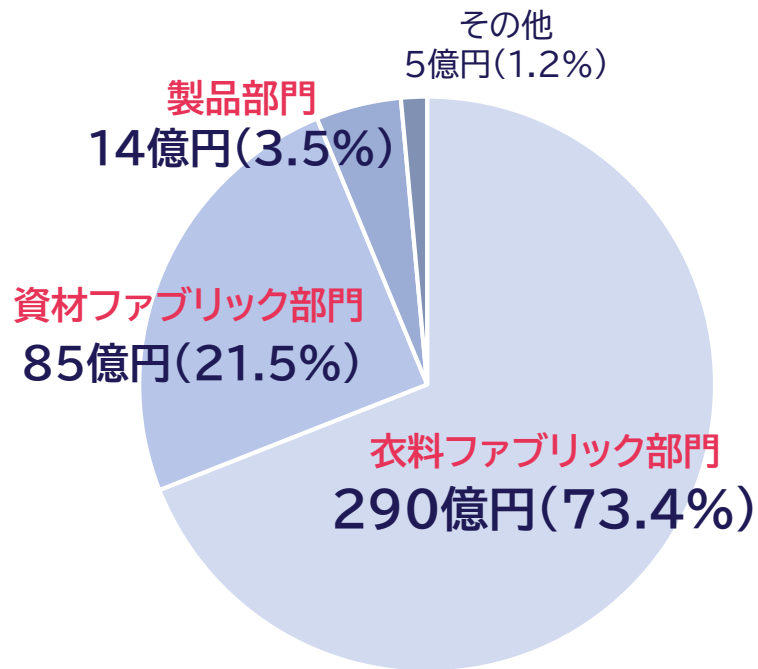
Art in Technology

～芸術の工業化～

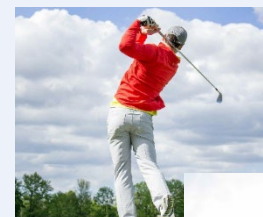
製品部門



2025年3月期 売上高 395億円



衣料ファブリック



資材ファブリック



持続的な社会の実現に向けて(SDGsへの取り組み)

小松マテールグループでは、2021年より、これからの持続可能な社会の実現(SDGsの実践)のため『小松マテール・サステナビリティ・ビジョン』として、2030年に向けて次の5つの項目の取り組みを推進しています。



1

気候変動対策



2

循環型社会づくりへの貢献



3

人々の感動の創造



4

防災・減災への取り組み



5

地域貢献と社員の成長



Ⅱ. 2026年3月期中間決算概要

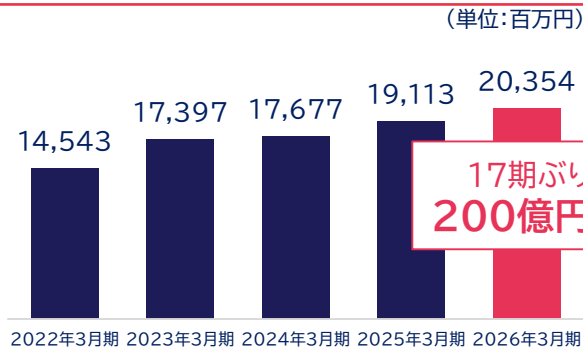
II-1. 2026年3月期第2四半期(中間期) 決算概要

売上高

20,354百万円

前期比

6.5%増

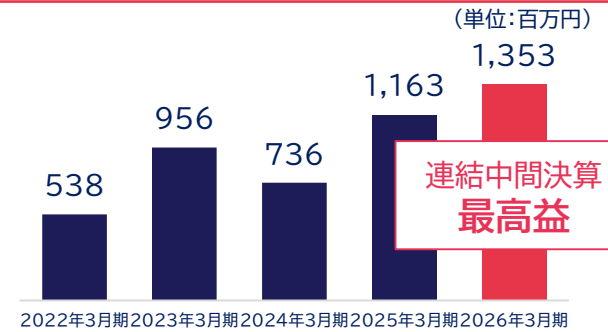


営業利益

1,353百万円

前期比

16.4%増

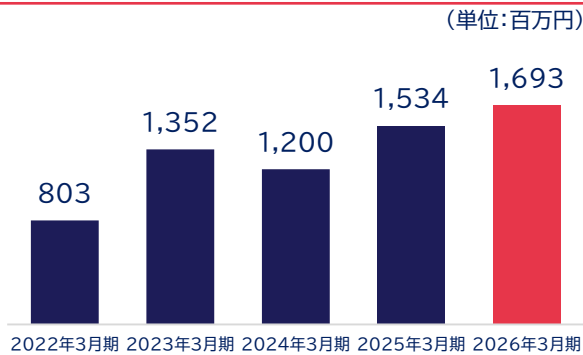


経常利益

1,693百万円

前期比

10.4%増

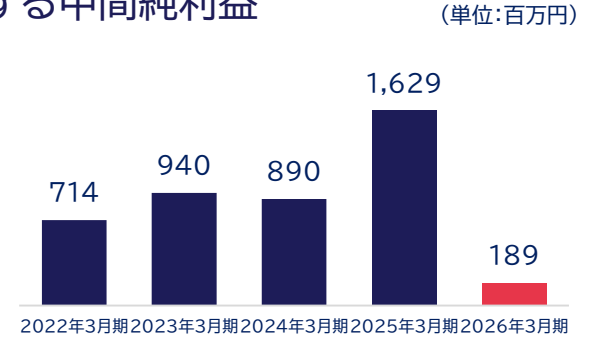


親会社株主に帰属する中間純利益

189百万円

前期比

88.4%減

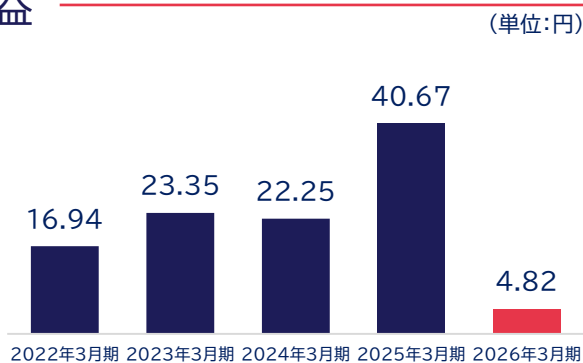


1株当たりの中間純利益

4.82円

前期比

35.85円減



「親会社株主に帰属する中間純利益」の減益については、当社が保有する投資有価証券（非上場株式）の一部について、取得価額に比べ実質価額が大幅に下落したため、投資有価証券評価損1,232百万円を特別損失として計上しております。

II-2. 中間決算 「各セグメント別売上高と営業利益」

(単位:百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	18,852	20,107	1,255	6.7	1,127	1,320	193	17.1
衣料ファブリック	14,002	14,461	458	3.3	1,073	1,172	99	9.2
資材ファブリック	4,030	4,276	245	6.1				
製品部門	820	1,371	551	67.2	54	148	94	174.1
その他の事業	261	246	△14	△5.6	36	34	△2	△5.6
合計	19,113	20,354	1,240	6.5	1,163	1,353	190	16.4

<コメント>

●衣料ファブリック

スポーツ・機能分野の受注減があったものの、欧州ラグジュアリーブランドを含むファッション、中東民族衣装が増加。

●資材ファブリック

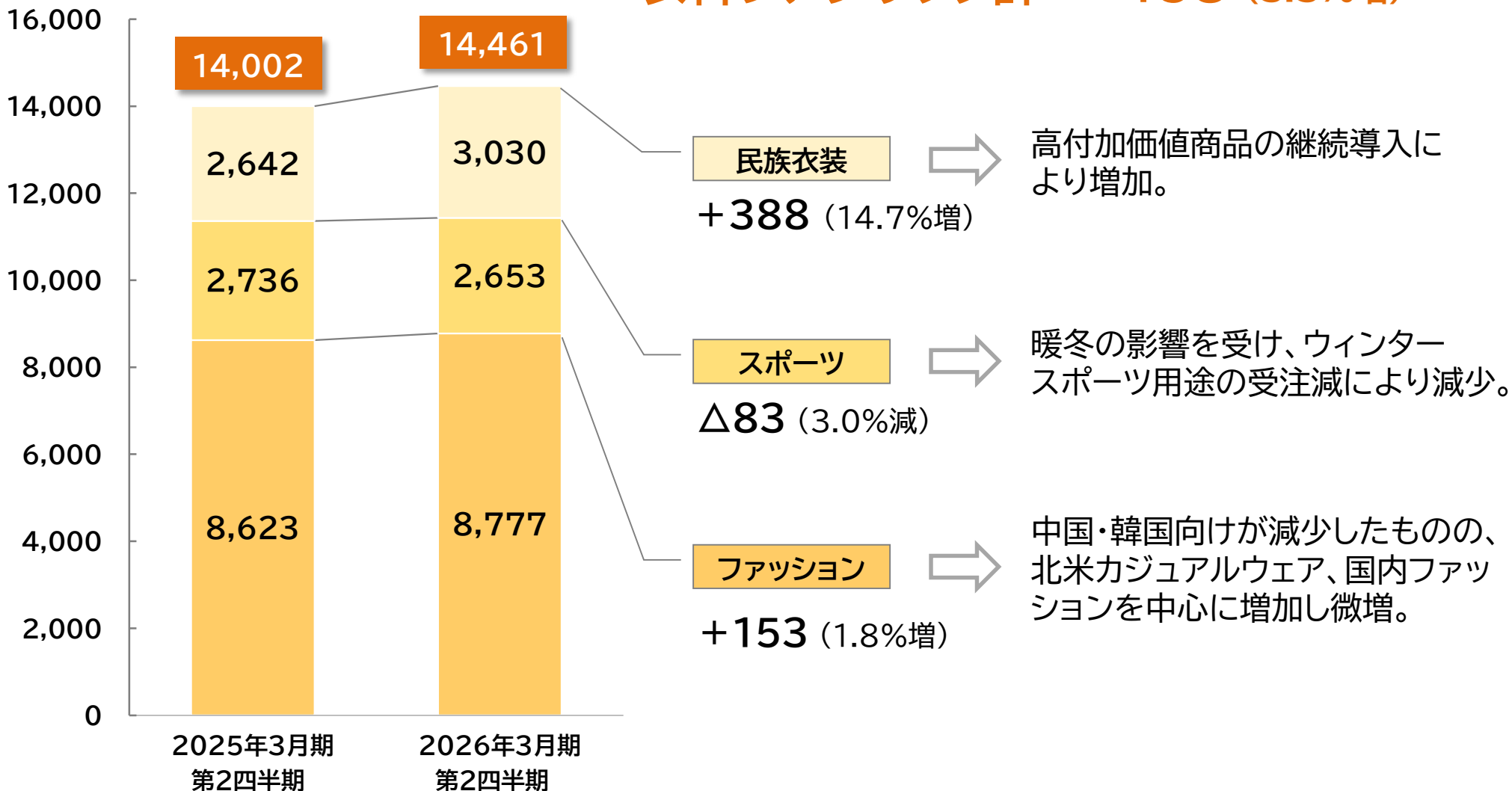
不採算事業から撤退したものの、生活関連資材分野が大幅に増加し、セグメント全体として増加。

●製品部門

連結子会社化により事業範囲が拡大したことから増加。

II-3. 中間決算 「繊維事業(衣料ファブリック部門)」

売上高(百万円)

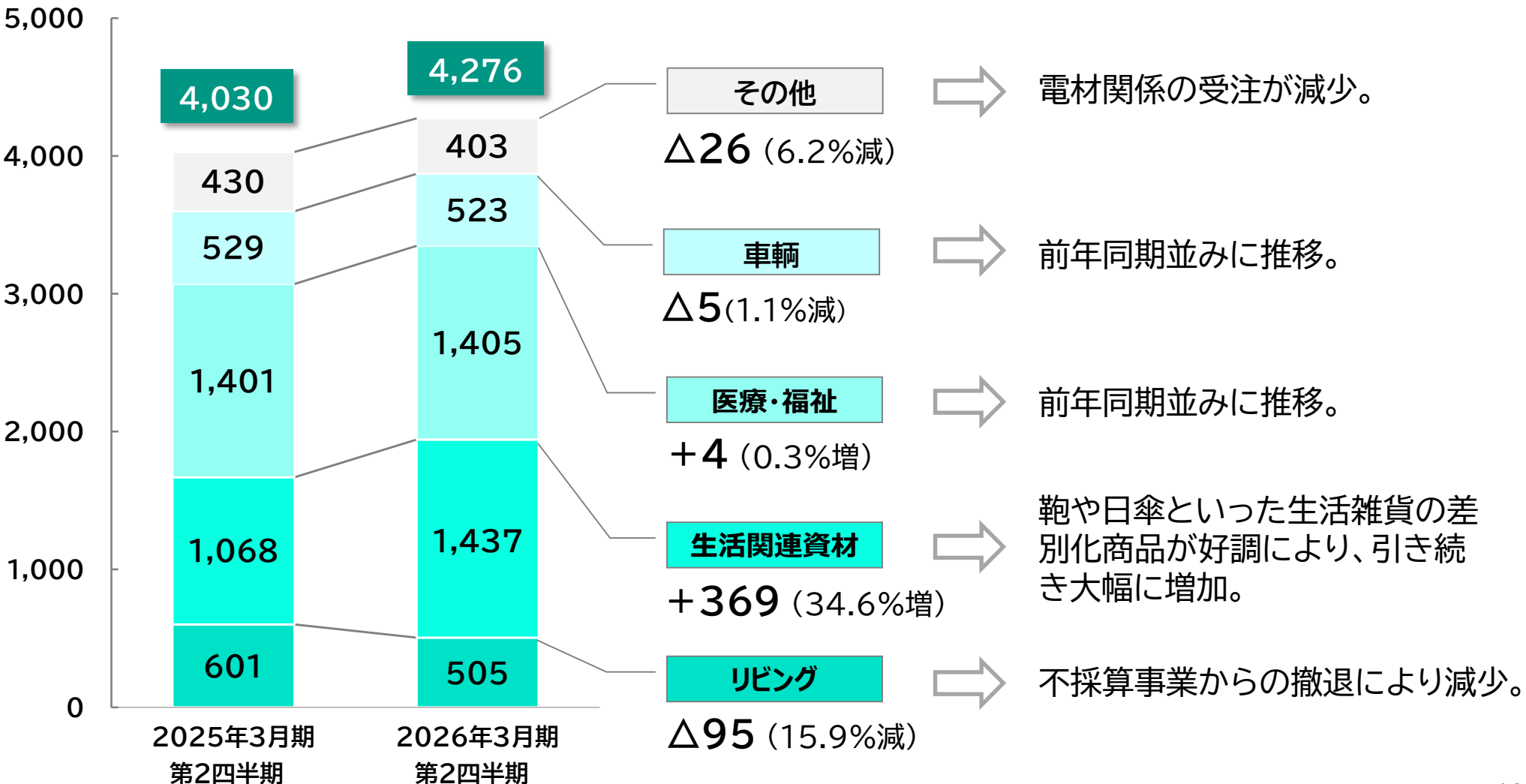


II-4. 中間決算 「繊維事業(資材ファブリック部門)」

(単位:百万円)

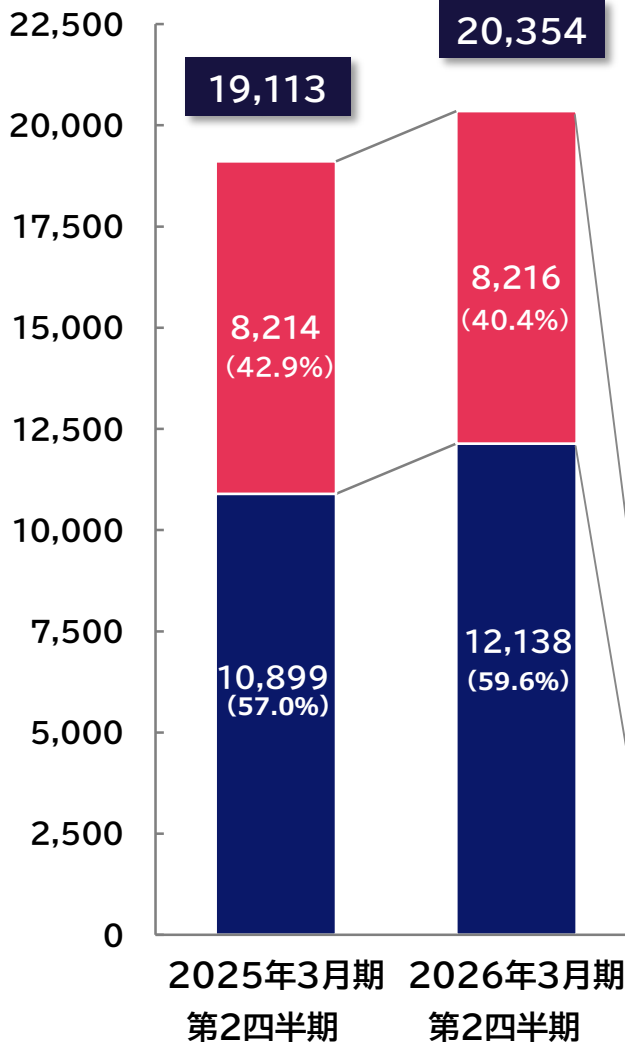
資材ファブリック計 +245 (6.1%増)

売上高(百万円)



II-5. 中間決算 「市場別売上高(国内・海外)」

売上高(百万円)



	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	1,864	1,710	△153	△8.2
北米	2,414	2,518	104	4.3
アジア他	1,443	1,162	△281	△19.5
中東	2,492	2,824	332	13.3

<コメント>

●海外市場

<欧州>ラグジュアリーブランド含むファッションは堅調に推移したものの、スポーツが減少。

<北米>カナダ向けのファッションが引き続き増加。

<アジア他>中国・韓国向けカジュアルファッションが減少。

<中東>高付加価値商品の継続導入により大幅増加。

●国内市場

大手SPA向けや衣料ファッション分野が増加。

海外

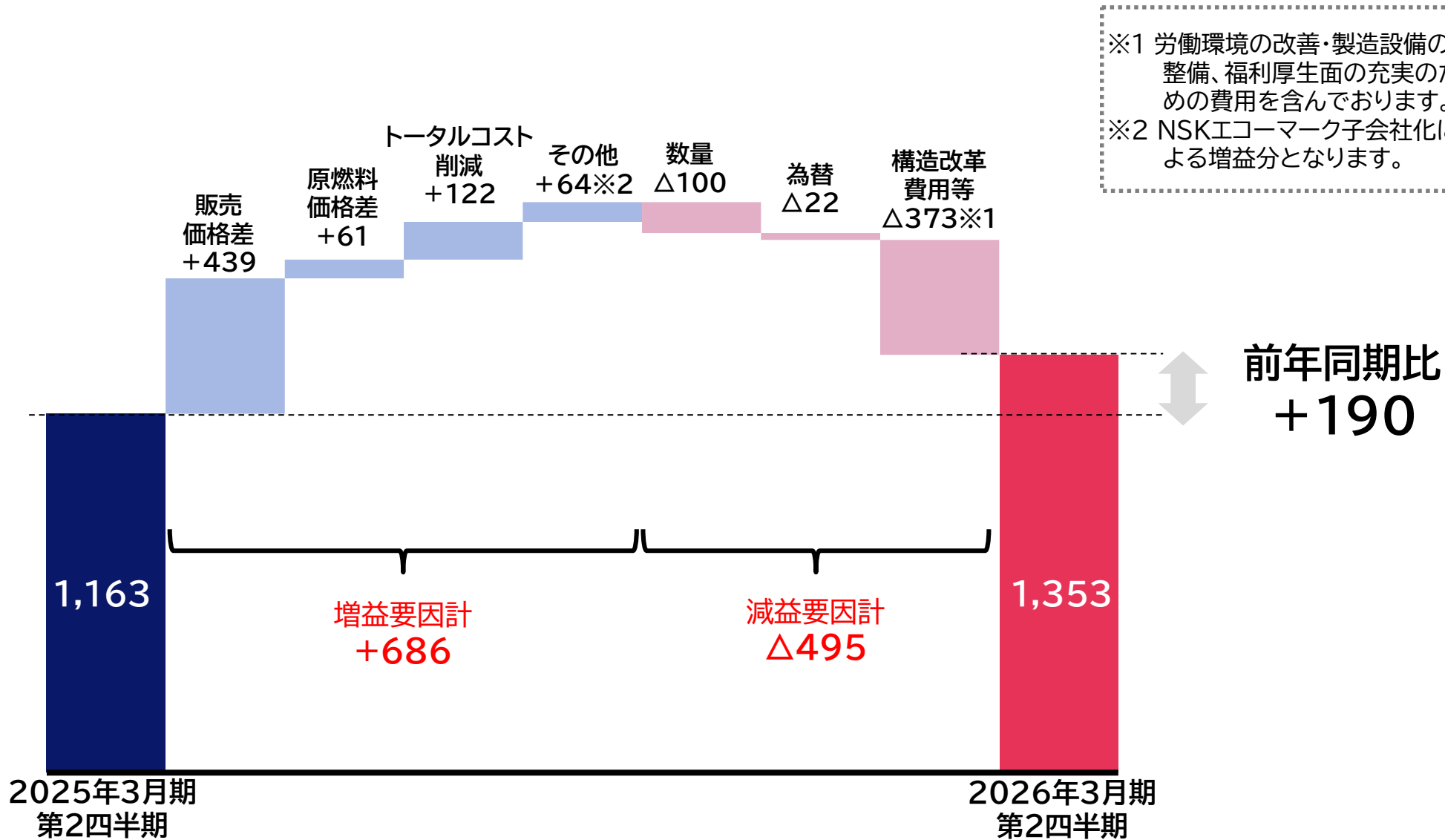
+2
(0.0%増)

国内

+1,238
(11.4%増)

II-6. 中間決算 「営業利益増減分析」

(単位：百万円)





Ⅲ. 2026年3月期 通期業績見通し

Ⅲ-1. 2026年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)

項目	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	増減(通期比較)	
			金額	増減率(%)
売上高	39,526	41,000	1,473	3.7
営業利益	2,181	2,650	468	21.5
経常利益	2,838	3,200	361	12.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,934	1,400	△1,534	△52.3

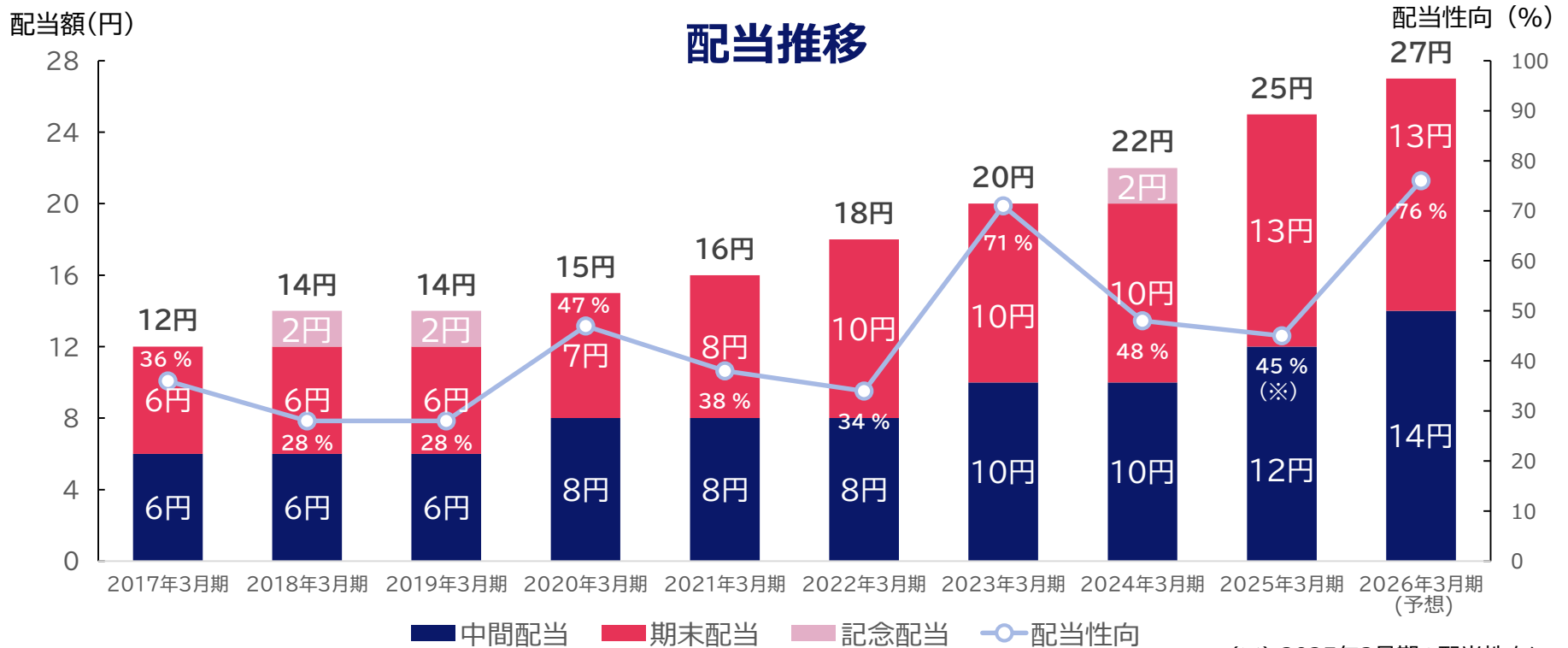
一株当たり当期純利益	73.42円	35.33円
------------	--------	--------

期中平均 為替レート	USD	144.59円	145.00円
	EUR	156.75円	153.70円

※ 当期業績見通しについて、「親会社株主に帰属する当期純利益」は直近に公表されている業績予想から下方修正いたしました。
なお、「売上高」「営業利益」及び「経常利益」については直近に公表されている業績予想から変更はありません。

Ⅲ-2. 通期見通し「剰余金の配当について」

- ◆ 当社は、株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。
- ◆ 配当性向について当期純利益の**40%以上**を目安としております。
- ◆ 今期中間配当は、1株当たり**14円**といたします。期末配当金額予想は、当初予想どおりの1株当たり13円とし、年間配当額は前期比2円増配の1株当たり27円を予定しております。



(※) 2025年3月期の配当性向について特益要因を除く。
特益要因を含む配当性向は34%

【自己株式の取得について】

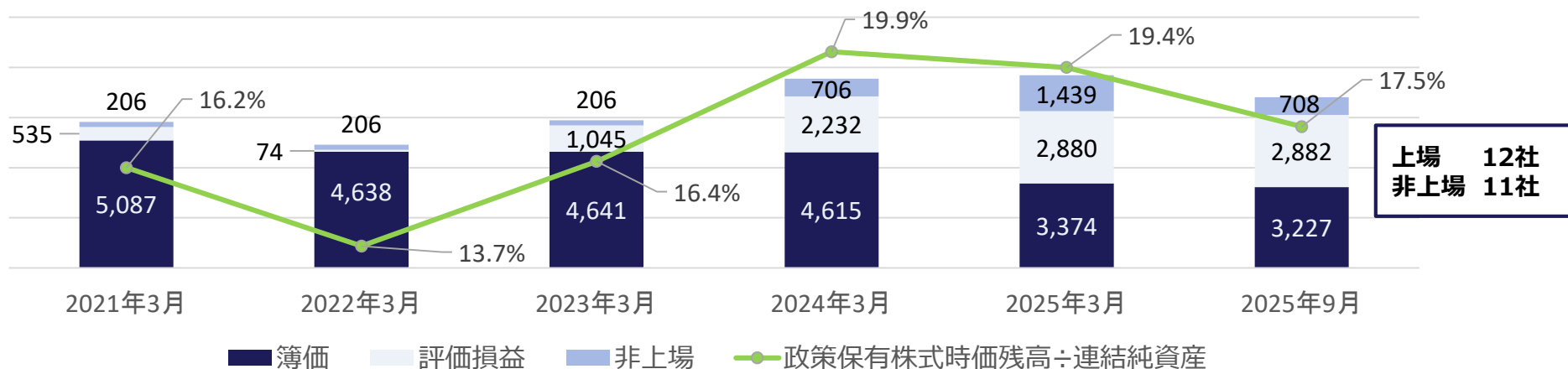
- 取得株式数: 200万株 (上限)
- 取得総額: 17億円 (上限)
- 取得期間: 2025年11月1日～2026年10月31日

Ⅲ-3. 通期見通し「政策保有株式の削減状況」

当社は企業価値向上と資本効率向上に向けて、更なる成長投資及び持続的な自己株式取得等の株主還元を実現するため、中期経営計画「KFW-2026」期間の3年間で政策保有株式の50%(約40億円)削減を目指しております。

○政策保有株式残高推移

(単位:百万円)



上場 12社
非上場 11社

○売却状況

業務提携への戦略投資等による株式取得

	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2025年9月
取得金額	+223	+10	+2	+502	+735	+506
売却金額(簿価)	▲290	▲459			▲1,243	▲149
評価額損益	-	▲461	+971	+1,157	+648	▲1,233
保有株式金額	5,828	4,918	5,891	7,552	7,692	6,818



IV. トピックス

QUATTRONI™ TK



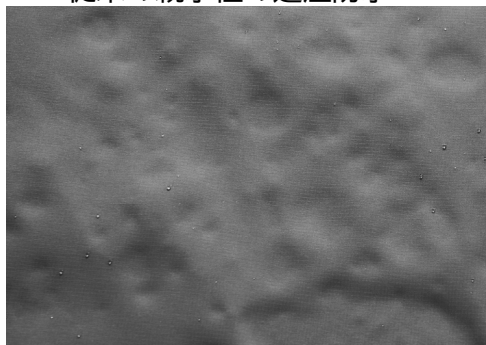
市場ニーズを受けて誕生した低膨潤高透湿防水ファブリック「QUATTRONI® TK」は、従来の「QUATTRONI®」の、「**軽い・薄い・柔らかい・ムレにくい**」という4つの特性に加え、水に浸しても外観変化が起きにくい「**低膨潤性※**」を新たに実現しております。

用途展開は、スポーツ・アウトドア・ユニフォーム等を想定しております。

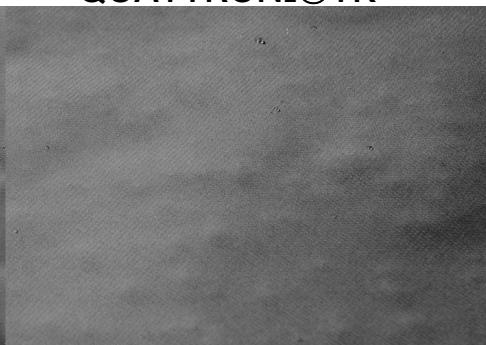
すでに欧州の展示会において現地ブランドのバイヤーやデザイナーから高い評価を得ております。2026年5月から受注開始し、2028年度には10億円の売り上げを目指します。

※膨潤性とは、生地に水が浸透した際に発生する外観変化。水を吸収し生地が膨らむ性質。

従来の親水性の透湿防水



QUATTRONI®TK



従来品(写真:左)では、水滴を投下して数秒で変形が始まり、3分後には明確な水膨潤が発生し、波打つような外観変化が生じました。一方、「QUATTRONI® TK」(写真:右)では、水と接触させた後でも外観変化はほとんど見られません。

汚泥減容化バイオ製剤「**Bellefomer**®」がグッドデザイン賞を受賞

新規事業である汚泥減容化バイオ製剤「ベリフォーマー」は、余剰汚泥の発生を最大100%削減しようとする優れた発想と技術やSDGsの観点からも高く評価され「**2025グッドデザイン・ベスト100**」を受賞いたしました。本受賞をきっかけとし、当事業の認知度や販路拡大を図ってまいります。



GOOD DESIGN
AWARD 2025



GOOD
DESIGN
AWARD
2025





質疑応答



ご清聴ありがとうございました。

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。